

2021 年度
人生 100 年時代の
社会人基礎力育成グランプリ

応募要項

(2021 年 5 月 28 日現在)

主催 一般社団法人 社会人基礎力協議会



一般社団法人 社会人基礎力協議会

2018 年 4 月 社会人基礎力協議会は、一般社団法人になりました

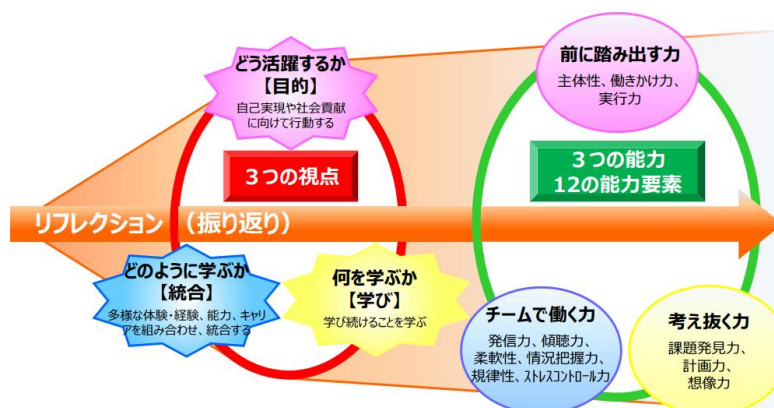
目次

1. はじめに	3
2. 大会の趣旨	4
3. 大会の構成	4
4. 参加申込について	4
(1) 参加資格（応募要件）	
(2) 申込方法	
(3) 参加決定	
5. 大会の概要	6
(1) 各地区予選大会の対象地域一覧	
(2) 各地区予選大会および全国決勝大会の開催日程	
(3) 発表（プレゼンテーション）について	
(4) 審査基準について	
(5) 発表時の注意点	
(6) 表彰	
(7) その他	
6. お問い合わせについて	10
(1) 地区予選大会について	
(2) 応募受付および全国決勝大会について	

1. はじめに

「人生 100 年時代」や「第四次産業革命」の下で、2006 年に発表した「社会人基礎力」はさらに重要性を増し、「人生 100 年時代」ならではの切り口・視点が必要となりました。

こうした状況を踏まえ、2017 年度に開催した「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」において、これまで以上に長くなるライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力を「人生 100 年時代の社会人基礎力」と新たに定義しました。



【参考】

経済産業省「社会人基礎力」ホームページ <http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.html> (2021 年 4 月 16 日参照)

2. 大会の趣旨

経済産業省がとりまとめ定義した「人生 100 年時代の社会人基礎力」に賛同し、大学での学びにおいて、社会人基礎力の教育の普及と、その効果的な教育方法の研究の推進を目的に、「人生 100 年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長をとげた学生らの多様な実例を集わせ、これらを審査、表彰し、その実例の周知を図ります。

3. 大会の構成

「人生 100 年時代の社会人基礎力育成グランプリ」は、地区予選大会及び全国決勝大会の 2 つの大会で構成されます。応募（エントリー）された各チームには書類審査の後、まず地区予選大会（全国 6 カ所にてオンライン開催）に出場していただきます。この地区予選大会で“最優秀賞”に選ばれた 1~2 チームが、全国決勝大会出場の権利を獲得します。

地区予選大会及び全国決勝大会では、各チームから「どのような活動に取り組み、どのように成長できたか」についての発表（プレゼンテーション）を行っていただきます。そして、産学官の有識者からなる審査委員会にて、学生たちの社会人基礎力の成長や知識の深まり等を審査し、社会で活躍ができる人材に育ったかという視点で総合評価します。

地区予選大会（6 地区オンライン）



全国決勝大会

4. 参加申込について

（1）参加資格（応募要件）

① 所属

発表者として参加できるのは、大学、短期大学、大学院、高等専門学校※（以下、大学等と呼

ぶ)に所属する学生で構成されるチームとします。1つのチームは以下のメンバーで構成してください。

※高等専門学校の出場者は4年生以上とする。

- 担当教員 1名(授業・ゼミ・研究室の担当教員:非常勤講師も可)
- 学生リーダー 1名(発表するチーム内でリーダーを選抜してください)
- 学生メンバー 2名

② 申込制限

同一大学からの応募は最大2チームまでとします(同一学部から2チームの応募も可能です)。同一大学内で3チーム以上の参加希望がある場合は、各大学にて独自に学内予選などにより選考して頂き、2チームに絞り込んでください。また、学内予選などを行わず3チーム以上の応募があった場合は、当該大学にて、調整をお願い申し上げます。

各地区予選大会において応募多数の場合には、書類審査を実施させていただきます。

③ 活動内容

学生の活動内容については、社会人基礎力の育成に繋がる講義、ゼミ、サブゼミなど、教職員指導のもと、大学等が教育の一環として実施している取り組みを対象とします。(ただし部活動やサークル活動などの課外活動は除きます。ご不明な点がございましたら事務局や各地区実行委員にお問合せください)

④ 審査対象となる活動期間

審査対象となる活動期間は2020年10月1日以降の活動部分に限らせていただきます。

⑤ その他

過去の出場校、受賞校もご応募いただけます。ただし、審査は、過去の活動・実績等は評価対象とせず、審査対象となる活動期間の取り組みについて行います。

(2) 申込方法

出場エントリーはWEB申請となります。

エントリー受付開始は2021年11月1日です。下記URLからご応募ください。

なお、出場エントリーした教員や学生の個人情報につきましては、当協議会において、社会人基礎力に関するヒアリングやアンケート等に使用させていただくことがあります。

一般社団法人 社会人基礎力協議会 URL <https://biz100.org>

(3) 参加決定

事務局にてエントリー内容の審査を行い、地区予選大会参加が確定したチームにはメールにてご連絡申し上げます。※登録アドレスに誤りがないよう十分ご注意ください。

また後日、地区実行委員長から地区予選大会のご案内をさせていただきます。

各地区予選大会から代表1チーム(または2チーム)が2022年2月下旬~3月上旬に開催される全国決勝大会(オンライン)に進出します。詳細については、決まり次第お知らせいた

します。

応募に関するスケジュールについて

- ・ エントリー(応募)締切り : 2022 年 1 月 11 日 (火) 17 時まで (日時厳守)
- ・ 参加決定チームへの通知 : 2022 年 1 月 18 日 (火) (予定)

5. 大会の概要

(1) 各地区予選大会の対象地域一覧

○北海道地区予選大会(オンライン)

北海道

○東北・関東地区予選大会(オンライン)

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、長野県、山梨県、静岡県

○中部地区予選大会(オンライン)

愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県

○近畿地区予選大会(オンライン)

福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

○中国・四国地区予選大会(オンライン)

鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

○九州・沖縄地区予選大会(オンライン)

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(ご注意) 上記が地区予選大会(オンライン)の区分ですが、応募チーム数の調整により、別地区の予選大会に出させていただくことがあります。

海外からオンライン参加を希望される場合は、事務局までお問い合わせください。

(2) 各地区予選大会(オンライン)および全国決勝大会(オンライン)の開催日程(予定)

【北海道地区】

- ・日程：2022年2月中旬・オンライン
- ・実行委員長：福沢 康弘(北海道情報大学)

【東北・関東地区】

- ・日程：2022年2月中旬・オンライン
- ・実行委員長：金森 敏(東京家政学院大学)

【中部地区】

- ・日程：2022年2月中旬・オンライン
- ・実行委員長：内山 哲治(名古屋産業大学)

【近畿地区】

- ・日程：2022年2月中旬・オンライン
- ・実行委員長：西川 出(大阪工業大学)

【中国・四国地区】

- ・日程：2022年2月中旬・オンライン
- ・実行委員長：松本 直樹(松山大学)

【九州・沖縄地区】

- ・日程：2022年2月中旬・オンライン
- ・実行委員長：森部 昌広(九州共立大学)

■ 2021 年度 社会人基礎力育成グランプリ 全国決勝大会 ■

- ・ 日 時 : 2022 年 2 月下旬～3 月上旬
- ・ オンライン
- ・ グランプリ委員長 市川純章(公立諏訪東京理科大学)

(3) 発表(プレゼンテーション)について

地区予選大会(オンライン)および全国決勝大会(オンライン)とも、基本的には同一の活動について発表していただきます。決勝に進出されたチームは、地区予選大会での発表時の反省点などを全国決勝大会での発表に活かし、より良い(活動の内容や乗り越えた課題等がより良く伝わる)プレゼンテーションを目指してください。

◆発表時間及び内容（地区予選大会）◆

以下は、発表の流れの一例になります。中身の構成は、各チームで工夫して下さって結構です。

① 教職員の発表（1名） 4分

取り組みの設計、学生たちの成長に関して説明してください。

1. 大学での取り組みの位置づけと達成目標（育成したい人物像）
2. 取り組みにおける学生の活動の構成
3. 取り組みに関して教員の準備、指導内容
4. 学生達の成長をどのように感じているか。また成長の評価方法など
5. 取り組みの今後の改善点

※また上記を踏まえて指導にあたった思いなどを発表してください。

② 学生の発表（3名以内）10分

取り組んだ活動内容、活動中の出来事、活動の成果、自らの成長について説明してください。

1. テーマ設定（テーマに取り組んだ理由）
2. 目標設定（自分達の目標、達成したいこと）
3. 目標達成に向けた活動内容
4. チーム内の役割分担（役割分担の決定方法など）
5. 課題（活動を進めていく中で起きた社会人基礎力を必要と感じた課題）
6. 課題解決（上記課題に対してどのように対応したか、解決したか）
7. 成果・成長の評価（活動の成果、その過程で学んだこと、活動を終えて自らの成長について思うこと）

③ 審査員との質疑応答 5分（2問程度の質疑応答があります）

【質問例】

- ・ 目標設定の妥当性（なぜそのテーマを課題としたのか、テーマ設定は適切か）
- ・ 課題克服の過程（一番苦しかったこと、大変だったことなど）
- ・ 課題解決策の評価（自分自身で振り返ってみてどうだったかなど）
- ・ 経験から学んだこと・これからのこと（活動を通して学んだこと、今後の目標など）

※上記は質問例です。質疑応答も評価対象になります、活動に対する自身のお考え等を整理しておいてください。

※発表時間等については、変更の可能性があります。尚、全国決勝大会の発表時間等については、全国決勝大会出場者に改めてご連絡させていただきます。

（4）審査基準について

社会人基礎力育成グランプリは、学生が行った活動内容を通して「社会人基礎力」の成長を評価するものです。このため、各チームの発表に対して、各審査員が以下の評価項目ごとに採点し、総合的に評価します。すべての項目での高い評価点が求められるわけではありません。

- ① 「前に踏み出す力」が、どれだけ成長したか
- ② 「考え抜く力」が、どれだけ成長したか
- ③ 「チームで働く力」が、どれだけ成長したか

- ④ 大学等で学ぶ一般教養や専門知識を生かすことができたか
- ⑤ 以下3つの視点について、どのように意識するようになったか
 - 【目的：どう活躍するか】企業や社会との関わりで、活躍する将来の自分の姿
 - 【統合：どのように学ぶか】今後、企業や社会との関わりの中で自らが学んでいく方法
 - 【学び：何を学ぶか】自分の得意や不得意、将来を考え、今後、高めていく自分の専門性や知識、教養、意識などの目標
- ⑥ 大学等の取り組みが、社会人基礎力の育成に対して効果的なものであったか

(5) 発表時の注意点

地区予選大会(オンライン)及び全国決勝大会(オンライン)の発表時には、以下の点に注意してください。

- ① 学生が行った活動の内容を通じた「社会人基礎力」の成長を、審査対象とします。
- ② これらを審査委員や観覧者に、分かり易く具体的なエピソードや内容を意識して発表してください。
- ③ 一般教養や専門知識の活用がより伝わるように、以下の点に注意してください。
 - ・活動中、成果を出すために活用した大学等で学んだ一般教養や専門知識。また、新たに学んだ一般教養や専門知識があれば、それらについて説明してください。
- ④ 発表には、上記①項を意識し、チームとして、3つの能力「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」をそれぞれ発揮し、「教養や知識」を活用したエピソードを具体的かつバランス良く盛り込み、単なる活動報告に終わらないように注意してください。
- ⑤ 高い専門知識の活用などの場合、活動内容やその成果等について審査員や会場の一般参加者にも理解できるように分かり易い言葉に置き換えて発表するなど工夫してください。

(6) 表彰

地区予選大会及び決勝大会では、審査委員の総合的な評価により、以下の各賞を授与します。

- ① 地区予選大会(オンライン)
 - 最優秀賞（各地域1チーム。但し、応募チーム数に応じて2チームの場合もあり。）
各地区において審査基準に基づき最も優秀な成績を収めたチームに対して授与
 - 優秀賞（各地域2チーム。但し、応募チーム数に応じて増える場合もあり。）
各会場において審査基準に基づき優秀賞の次点として優秀な成績を収めたチームに対して授与
 - 審査員特別賞（該当がある場合）
各地区において、特徴的な取り組みをしたチームに対して授与
- ② 全国決勝大会(オンライン)
 - 社会人基礎力大賞（1チーム）
全国決勝大会において、審査基準に基づき最も優秀な成績を収めたチームに対して授与
 - 準大賞（2チーム）
全国決勝大会において、審査基準に基づき大賞に次ぐ優秀な成績を収めたチームに対して授与
 - 審査員特別賞（該当がある場合）

全国決勝大会において、特徴的な取り組みをしたチームに対して授与

(7) その他

- ① 地区予選大会(オンライン)において、最優秀賞を受賞したチーム(合計6~8チーム予定)が、全国決勝大会(オンライン)に進出することができます。
- ② 地区予選大会(オンライン)で発生する費用は、自己負担とさせていただきます。全国決勝大会についても同様です。

6. お問い合わせ先

(1) 地区予選大会について(オンライン)

地区予選大会の実施内容等については、各地区実行委員長にお問い合わせください。

地区	担当者・実行委員長	TEL/アドレス
北海道	実行委員長：北海道情報大学 福沢康弘	y.fukuzawa@do-johodai.ac.jp
東北・関東	実行委員長：東京家政学院大学 金森敏	skanamori@kasei-gakuin.ac.jp
中部	実行委員長：名古屋産業大学 内山哲治	uchiyama@nagoya-su.ac.jp
近畿	実行委員長：大阪工業大学 西川出	izuru.nishikawa@oit.ac.jp
中国・四国	実行委員長：松山大学 松本直樹	matsumoto@g.matsuyama-u.ac.jp
九州・沖縄	実行委員長：九州共立大学 森部昌広	moribejukuchou@gmail.com

(2) 応募受付および全国決勝大会(オンライン)について

応募・発表データの送信及び全国決勝大会については、事務局へお問い合わせください。

・2021年7月31日までは、以下です。

「2021年度 人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」事務局

★一般社団法人社会人基礎力協議会 事務局
(株式会社学情 学校企画部 内) 東 修三(ひがし)
アドレス：jimukyoku@biz100.org
〒105-0061 東京都中央区銀座6-18-2 野村不動産銀座ビル15F
TEL.03-3545-7310(代) FAX.03-3545-7311

・2021年8月1日からは、住所と電話番号が、以下に変更になります。

「2021年度 人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」事務局

★一般社団法人社会人基礎力協議会 事務局
(株式会社学情 学校企画部 内) 東 修三(ひがし)
アドレス：jimukyoku@biz100.org
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル
TEL.03-3593-1500(代) FAX.03-3593-1510